



▲ポンプで低地の雨水を水路に排水する様子
(8月10日台風11号 町内で撮影)

朝晩、雨戸の開け閉めに、ふと感じる秋の気配。ひんやりとした冷気が確実に「夏」と「秋」の交代を告げています。気候もよくなり、これからは、屋外でも過ごしやすくなります。スポーツイベントや文化行事などで、世代を超えての交流・ふれあいが生まれればいいですね。

◆8月、兵庫県西部に上陸した台風11号による水害で、播磨町の水田川関連では床下浸水13戸の被害がありました。河川改修については、県事業で鋭意進めていただいておりますが、完成までには、まだしばらくの年月が必要なことから、町としてもできる限りさまざまな対応を試みてまいりたいと思っています。昨年から実施している「ポンプ」での対応も、効果を確認していますし、今年度中に「水路のバイパス工事」も実施したいと思っています。顕著な効果が、即、期待できるものではないかもしれませんが、少しずつ改善を図っていきたくと思っています。台風当日、職員は昼夜対応に当たりましたが、私も川から溢れた水が膝まで浸かる状況下の現地に足を運びました。台風や豪雨の度ごとに発生するこのような状況を、一日も早く解消したいと思っています。

◆広島では土石流などで多くの人命が失われる大規模災害が発生しました。犠牲になられた方々に心よりお悔みを申し上げます。兵庫県の丹波市などでも大きな被害があり、播磨町からも、水道グループの職員が応援給水に駆けつけました。それぞれの自治体においては、日頃から様々な防災対策を講じていますが、自然災害は、時には予測できない規模のものが発生することもあります。自助、共助、公助という言葉を中心にとどめていただき、平素からの備えと、災害時における個々のあり方について、今一度お考えいただければ…。

播磨町長 清水ひろ子

第25回兵庫県消防操法大会小型ポンプの部に野添分団が出場

危機管理グループ ☎ 079 (435) 0991

8月3日兵庫県広域防災センターで兵庫県消防操法大会が開催されました。



6月15日の東播磨地区消防操法大会の小型ポンプの部で優勝した野添分団が、さらに練習を重ねてこの大会の小型ポンプ操法に臨みました。

優勝はできませんでしたが、悪天候の中、きびきびとしたすばらしい操法を披露しました。



指揮者 高木利浩
一番員 川本 龍
二番員 有村圭太
三番員 田中哲二
補助員 北田陽介

第8回 日本文化のつどい開催

県立播磨南高等学校 ☎ 078(944)1157

8月27日中央公民館で、日本文化のつどいを開催し、高齢者・高校生・小学生・幼児など約300人の参加がありました。播磨南高等学校吹奏楽部の演奏で始まり、ことぶき大学合唱クラブ・詩吟クラブ、弾・まめ弾の演奏、あやとり、折り紙、型染めなどで世代を超え交流を深めました。最後は播磨音頭の総踊りで締めくくりました。参加者全員で歌い、踊り、語り合う、和やかな時間でした。



楽屋裏

どこに出かけるにも活動しやすい季節になりました。どこかに出かけてみたいと思うのですが、なかなか…せめて、町内を歩いてみようと思っています。

今月号11ページに、「はりま津波ウィーキング」のお知らせを掲載しました。昨年は、大遺跡まつりの会場にすつといたため、参加できませんでした。今年、参加できずにはいられませんが、今年、事前にこのイベントを意識して町歩きをやってみたいかなと思っています。歩いて津波避難目標地点の大中遺跡公園まで、所要時間がどのくらいかかるのか、どんな道なのか知っておくことは大切だと思います。皆さんもぜひ参加してみてください。

(宮)

夏休みおもしろ教室

すこやか環境グループ ☎ 079 (435) 2721

8月1日から10日まで、毎年恒例の「夏休みおもしろ教室」を開催し、今年もたくさんの親子が参加してくれました。

「3Rを体験!牛乳びんでランプを作ろう」では、ガラスびんの作られ方や、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の大切さについて学び、ガラスびんが地球環境にやさしいことを教わりました。途中のクイズにも積極的に手を挙げて答えてくれました。

工作の時間には、牛乳びんに様々なシールを貼って、親子で個性豊かなランプを作りました。最後に明かりを灯すと、その出来栄に歓声があがっていました。



Summer コンサート

中央公民館 ☎ 079 (437) 6980

8月23日にサマーコンサートを中央公民館で開催しました。

今回のコンサートは、沖縄の三線・太鼓の音に乗せてのなつかしい沖縄民謡・ポップスの演奏。そして、沖縄の伝統芸能でもあります迫力あるエイサーを披露していただきました。

350人を超す会場の皆さんには、勇壮な太鼓の響きや迫力ある踊り、美しいハーモニーに沖縄の風を感じていただいたことでしょう。

楽しい雰囲気の中で約2時間が過ぎていきました。



本革で作ったペンケース!

郷土資料館 ☎ 079 (435) 5000

8月21日、郷土資料館で県の伝統産業の一つ、本革(なめし皮)でペンケースを作りました。模様をつける場所に水をつけ、いろいろな形の刻印をかなづちで打ち付けて作るため、学習室はさながら鍛冶屋さん。すてきなオリジナルペンケースができましたが、革の余った紐を利用して手提げペンケースにした人やカードケースを作った人も。講師の先生も、その出来栄のすばらしさにびっくりされていました。



わんぱくはりまっこ



いのうえ えいしん
井上 英心くん
(東野添)

いつもニコニコ!!これからも元気に
すくすく大きくなってね(パパ♥ママより)